

MUFG 経済制裁規則

経済制裁への取り組み

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ(以下「MUFG」)および主要子会社[※]の活動は、お客さまからの信用と信頼の上に成り立っています。MUFGは、MUFGグループ行動規範で定められた経済制裁の回避および迂回行為に対する非許容方針(ゼロ・トレランス)に基づき、関連する経済制裁法の条文と精神を遵守するため、MUFG経済制裁規則(以下「MUFG 経済制裁規則」)を制定しました。

※ 株式会社三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行株式会社、三菱UFJ証券ホールディングス株式会社、三菱UFJニコス株式会社、アコム株式会社、三菱UFJアセットマネジメント株式会社

MUFG 経済制裁規則および経済制裁コンプライアンス・プログラム

MUFG 経済制裁規則は、主要子会社のすべての従業員に公開されており、適用される制裁関連規制(U.S. Department of the Treasury's Office of Foreign Assets Control (OFAC)による制裁や本邦財務省による制裁を含む)に違反して、制裁対象国・地域及び制裁対象者の取引に係る、口座入金や支払処理を行うことを禁止しています。

主要子会社では、MUFG 経済制裁規則に則り、以下のリスクベース統制プロセスを含む経済制裁コンプライアンス・プログラムを策定しています。

- 経済制裁規則とスタンダード: 適用される規制要件を遵守した、主要子会社における経済制裁規則とスタンダード
- 経済制裁スクリーニング: 顧客取引開始時および取引処理時の経済制裁スクリーニングとレビュー
- リスクアセスメント: 経済制裁リスク・統制に関する年次評価
- 研修: 経済制裁リスクおよび統制に関する役職員向けの定期研修(経済制裁規則や手続上の規定に関する研修等)
- 記録保管: 記録管理・保持に関する規則・手続の遵守
- テストング、監査およびその他の統制に関するレビュー: 経済制裁関連の統制プロセスの設計と有効性に関する定期的なテストング、監査、その他統制に関するレビュー

役職員の責任と規則違反の対応

MUFG の主要子会社の役職員は、経済制裁の回避および迂回行為の対策において重要な役割を担っています。全役職員は、MUFG 経済制裁規則に定める要件を理解・遵守し、上司やコンプライアンスオフィサーへの確認や匿名チャネルを通じて経済制裁関連の疑問または懸念を適時かつ速やかに報告・相談する責任を負っています。MUFG および主要子会社は、善意で懸念を報告した者に対する報復を禁止しています。MUFG 経済制裁規則に違反した役職員は、解雇を含む懲戒処分の対象となる可能性があります。また、規制当局や司法当局からの調査対象となる可能性があります。